

### 第3回 藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会 議事録(要旨)

日 時：2021年(令和3年)9月8日(水)午後6時30分から午後8時30分

場 所：藤沢市役所 本庁舎8階 8-1,2会議室

委員出席者：川村委員長、黒川委員、奈良委員、宮原委員、神原委員は会場出席

間瀬委員、中島委員、長田委員、野口委員、飯田委員はWeb会議システムでの参加

オブザーバー：藤沢商工会議所 大嶋常務理事、企画政策課 三ツ井参事、市民自治推進課 福室参事、  
市民相談情報課 藤岡課長、生涯学習総務課 板垣参事、郷土歴史課 田代課長、  
総合市民図書館 市川館長、青少年課 高橋課長、公園課 張ヶ谷課長、下水道総務課  
近藤参事

事務局出席者：文化芸術課 井澤課長、齊藤課長補佐、上原上級主査、吉原主幹  
企画政策課 岡主幹、小泉課長補佐、石丸上級主査

八千代エンジニアリング株式会社(齋藤、小川、稲越)

傍 聴 者：7名

議 題： (1) 基本理念(案)  
(2) 複合化対象機能について  
(3) 再整備基本方針の考え方  
(4) ホール席数検討における評価の視点(案)  
(5) その他

配 布 資 料：

○次第

○資料1：基本理念(案)

資料2：複合化対象機能の概要一覧表

資料3：再整備基本方針の考え方

資料4：複合施設事例の紹介

資料5：複合化機能のイメージ(案)

資料6：ホール席数検討における評価の視点(案)

## ■議事要旨

### (1) 基本理念

- ・事務局より、資料1「基本理念(案)」の説明。

川村委員長	<p>前回の議論を踏まえながら、大変分かりやすくまとめていただいたと思います。</p> <p>基本理念をしっかりと皆で共有することが一番大事なので、様々なご意見をいただきたいと思います。</p>
中島委員	<p>多様な意見をよくまとめていると感じました。</p> <p>些細なことかもしれませんが、奥田公園の扱いが不明瞭ではないかと感じました。奥田公園も今回の再整備の対象になっています。今回の資料1枚目に「緑豊かなオープンスペースや周辺環境を生かした拠点」とありますが、「奥田公園の緑、～一体性」の主語が、市民会館となっています。奥田公園は主語ではなく、関係するものという扱いになっています。</p> <p>また、基本理念(案)においても「奥田公園～と調和が取れ」とありますが、奥田公園自体も拠点の一部なので、おかしくなっていると思います。</p> <p>例えば、「市民会館等の施設と屋外の奥田公園等が一体となった拠点をつくる」、であれば分かります。始めから奥田公園が主語から消えているのがおかしいと思います。その点についてお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>中島委員のお考えと同様、奥田公園自体も市民会館等と一体となった主体のイメージであると考えております。今のご指摘を踏まえ、表現を再考させていただきます。</p>
中島委員	<p>共通の理解はあると思うので、是非、表現を再考いただきたいです。</p> <p>もう一点、「周辺環境」とは何かについて考えてみると、みどりの基本計画等を拝見すると、新林公園に向けての軸線が引かれており、市民会館を含めた拠点と新林公園の連携がかなり大事であると考えます。</p> <p>緑・自然のつながりもありますし、人々が両方を行ったり来たりすることもあり得ます。周辺環境については、境川だけでなく新林公園も含めた方が政策的な整合性からも良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見いただいたとおり、新林公園の連携についても考えた方が良いと思います。境川沿いの緑地等を含めて、広い視点で今後検討させていただきます。</p>
中島委員	<p>是非ご検討いただきたいと思います。</p>
間瀬委員	<p>基本理念(案)について、藤沢市文化芸術振興計画における基本理念と乖離しているように読めました。藤沢市文化芸術振興計画の基本目標1では、「藤沢の特性を生かした文化芸術の振興を図ります」とあり、基本理念としては、</p>

	<p>「多彩な文化の融合による新たな『ふじさわ文化』の創造」がトップにあります。今回の基本理念（案）を見ると、どちらかというと、生涯学習の拠点施設をつくるという表現になっています。文化芸術については、基本理念（案）からは感じられないのですが、ご見解はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>藤沢市文化芸術振興計画の「多彩な文化の融合による新たな『ふじさわ文化』の創造」については、文化だけでなく青少年の活動、市民活動など多彩な活動も含まれています。それらが重なり合って共創につながっていく、新たな文化発掘につながっていく、ということで多彩な活動による共創拠点といった表現にさせていただきました。</p>
間瀬委員	<p>藤沢市文化芸術振興計画の中にある基本目標 1～3 の 3 つは、今回の基本理念（案）にある 5 つの中に、どのように混ざっているのでしょうか。あくまで市民会館の建て替えであるため、市の文化振興計画と乖離するということは問題があると思います。その点を含めて修正をかけていただきたいです。</p> <p>例えば 2 つ目の「文化芸術・知識との出会いの拠点」について、「一人ひとりの多様な活動を支える」、「知識との出会いを通じて」、「次世代を担う活動者の育成」、「郷土愛をはぐくみます」等があり、基本計画から少しハンドルを切り替えているように感じます。</p> <p>今回の再整備で市民会館のメインは機能であると思いますので、機能の中に文化芸術の振興を図るという観点や市民会館という文化芸術の拠点施設という観点をもう少し謳っていかないと困ると思います。</p> <p>これについては、意見ということで結構です。</p>
川村委員長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
黒川委員	<p>資料 1 の右側に、「文化芸術・生涯学習のための拠点」について、「活動を支えるプラットフォーム」、「課題解決のための機関」と盛り込まれていますが、前はもう少し広い意味で申し上げたつもりでした。例えば、複合化による新たなサービスにも関連するし、また、奥田公園にも関連すると理解していました。あえてここに盛り込んだ意味があるのか、お伺いしたいです。</p>
事務局	<p>前回の議論を進める中で、文化芸術活動を支えるプラットフォーム、課題解決のための機関として、こちらに入れました。もう少し広い意味であれば、「複合化による新たなサービスの提供」に位置づけを変えることは可能と考えておりますので、検討させていただきます。</p>
黒川委員	<p>様々な蓄積をどのように参加者に見せていくかについては、芸術文化に留まらず、例えば、福祉や青少年などに関するものをワンストップ化し、質問を受けたときに「あそこに行けば必ず分かる」というような連携を作っていく必要があります。複合化による新たなサービスの中にプラットフォームが入っていないと、その視点が落ちるのではないかと思います。おっしゃっていただいた内容で結構です。</p>

	<p>もう一つお話して良いでしょうか。文化芸術基本法などの上位計画を読んでいる、そもそもなぜ文化芸術が必要なのかということについて、どのような理解が共有されているのかを考えてみました。藤沢市の2015年の統計の中で、単身高齢、夫婦高齢が全世帯の20%を超えました。今はもっと増えていると思います。その世代が文化に触れようと思っても、高齢で引きこもりになると、認知症や健康障がいも生まれてくるでしょうし、社会保障費も増えていきます。その子どもたちは、労働の長時間化、非正規労働の人も多くなり、時間が無くてお金が無い人たちが多くなり、芝居を観ないで音楽も聴かずにネットで全てを済ませています。その孫の世代は、地域の社会参加の窓口が減って、学校現場での集団による創造・創作活動が減っている実態があります。</p> <p>そういう意味では、芸術文化の拠点を作る意義として、世代をつないで、人や地域に対して能動的で積極的な人材を育むことが重要なポイントであると思っています。単に鑑賞型のものではなくて、体験、つくるという共通活動を通して、引きこもり社会から変わっていく能動性が求められていると思っています。この5つのポイントのみでは、なぜ芸術が必要なのかというストーリーが市民に伝わらないと思いました。もう少し積極的なアピールがあると嬉しいと思いました。意見です。</p>
川村委員長	貴重なご意見として承ります。
飯田委員	<p>基本理念（案）にある「奏であう」という表現が気になります。奏であるという言葉はプレイヤーに主眼を置いた言葉であると思いました。発信の拠点もそうだと思いますが、オーディエンス・聴衆も必要であると思います。</p> <p>最近の藤沢市の市民活動は盛んであると思いますが、「奏であう」だと、それ以外の人を拒んでいる印象も受けます。もう少し「響く」等、聞く側の人たちも包摂するような言葉を選んでいただくと、無目的で来る方の気持ちにも寄り添うことができると思います。具体的には、「響き合う」等の言葉があると双方向に対応できると思います。文面の意図を教えてくださいたいのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>「奏であう」の部分に関しては、ご指摘のとおりプレイヤーの視点もありますが、共創という視点で「奏であう」としました。聴衆も1人の参加者として捉え、このような表現にさせていただきました。</p> <p>飯田委員ご指摘の「響く」についても検討しましたが、検討の中で奏であるの方が重層的な表現になると考え、このようにしました。「響く」といった視点もありますのでこちらでも検討させていただきますが、「奏であう」はそういった意図で設定させていただいたキーワードです。</p>
飯田委員	<p>全体的な表現について、ありがちなものになりかねないと感じました。藤沢ならではのものになっていないと感じます。</p> <p>新林公園とのつながりの話にもなると思いますが、1つ目の「～周辺環境と</p>

	<p>の融合」の部分に、なぜあの場所に市民会館があるのか、藤沢の歴史について踏まえたものがあると、藤沢らしい理念が伝わると思います。</p>
川村委員長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
長田委員	<p>基本理念(案)を拝見し、凄く良くまとまっていて、ずっと入ってきました。しかし、市民会館が、「気楽に訪れられる」という視点がほとんどで、逆に芸術性の高さが感じられないという印象を受けました。この基本理念(案)を読んだ時に、新しくできるホール施設としてのレベルが低くなるという印象を受けてしまいました。</p> <p>素晴らしい施設をつくと予算がかかるため、市民会館は手抜きをするという印象を受けてしまったのですが、私の誤解であってほしいです。</p>
川村委員長	<p>大変貴重なご意見だと思います。</p>
中島委員	<p>私も同様の印象があり、基本理念のワンフレーズとして「文化芸術」がないと、この場所ならではの意味がなくなります。このくらいの話だと、藤沢市内の他の場所でもよいと感じました。その意味では、多彩な活動の共創はもちろんありますが、基本理念の中で核となっている文化芸術の視点も入れた方がよいと思います。質の高さをどのように入れるかは難しいのですが。</p> <p>もう一点、「質の高い文化芸術とは、どのような環境であるか」という点で、本当は緑なども基本理念の一番上に挙がってきてほしいとは思いますが、先ほどの飯田委員の意見にもあったような、人に対しても、環境としてもオープンスペースで開かれている環境をつくっていくべきだと思います。文化芸術が中心であることと、「開かれた」という言葉が一つあると、今までの市民会館の要素も引き継ぎつつ、どのような人でも参加できるということにもつながると思います。最初の一行はかなり大事なので、もう一步練ってほしいと感じました。</p>
川村委員長	<p>他にございますか。野口委員ご発言ございますか。</p>
野口委員	<p>長田委員の意見が理解しやすかったです。やはり市民会館なので、基本的には芸術性の高い目標を掲げるべきだと思います。単なるコミュニティセンター・公民館の大きな施設をつくる訳ではないので、基本的には芸術性をトップに掲げた方がよいと感じました。</p>
川村委員長	<p>貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>私も今までのご意見でほぼ尽きているのですが、2点ほど発言させていただきます。</p> <p>1点目は、新しい施設では芸術文化がコアになるべきということです。コアになるのは市民会館であり、市民会館は芸術文化の場であるべきということです。皆様のご意見でも表現の差はありますが、そうしたことを述べておられるので、そのことをきちんと打ち出した方がよいと思います。</p>

	<p>2点目として、基本理念（案）の2番目に、「～出会いの拠点」とあります。文化芸術に「触れる・学ぶ・発信する」ことができる拠点と説明されていますが、やはり質の高い文化芸術を創造する拠点であるという視点は必要だと思います。</p> <p>また、優れた文化芸術の創造には、それを担う優れた人材の育成も必要になります。ここでは次世代の育成について触れられていますが、少し弱いので、まさにこれからを担う若手人材の育成について、もっと明確に触れることが必要であると思います。</p> <p>多彩な活動を創出するという言葉はありますが、具体的には、文化芸術の創造であり、さらに具体的には、藤沢にとって貴重な財産である市民オペラについて、藤沢の宝として育てていく拠点としての位置づけを明確にさせていただければと思います。そのような意味で、2つ目の「文化芸術・知識との出会いの拠点」で、そうした意味での人材育成という面が不足していると感じました。</p> <p>また、5つの丸はよくできており、皆がアクセスしやすい、ということが色々な所に出てきます。誰にとっても魅力的な拠点、誰もが利用しやすい施設、目的がない人も気軽に立ち寄ることができる。それらを実現するためには、前回も申し上げましたが、その大前提となるアクセスについて考えていただきたいです。藤沢市民のうち、この施設にふらっと歩いて来られる人は、本当に僅かです。駅まではアクセスできますが、駅からはけっこう遠いです。高齢者もふらっと立ち寄れるためには、とにかくアクセスをどのように確保するかについて、この際しっかり考えていただきたいです。</p> <p>図書館が駅前に移転し、利用者が非常に増えています。施設が完成して図書館がこの場所に戻ってきた時に、市民はどのように受け止めるのでしょうか。アクセスのしやすさは、この地域と施設の魅力の基本的な部分になるので、是非理解していただきたいです。それを理解した上での記載であれば大変素晴らしい、アクセスも改善されるという期待も持ちました。</p> <p>基本理念（案）が一番大切な部分ですが、他によろしいですか。</p>
<p>間瀬委員</p>	<p>もう一度基本理念（案）を見ると、「本事業の基本理念」とあります。やはり市民会館建替えのための理念なので、皆さんからの意見もありましたが、文化芸術が表に出ないとおかしいと思います。</p> <p>もう一つ、「劇場、音楽等の活性化に関する法律」に、劇場、音楽堂等の事業が全部で8項目あります。これを具体的に書く必要はないかもしれませんが、これを仕事としてできる施設と人材、運営組織が必要であると思いますので、もう少し基本理念は詰めていただきたいです。</p> <p>また、賑わいや誰でも出入りできるようにすることで、パルテノン多摩では、大ホールのロビーと自由に出入りできるよう、ホワイエの壁を全部とってしまいました。その結果、おそらく運営面で悩ましいことが起きると思っています。図書館も同様に、ロビーに自由に子どもたちが出入りすると、にぎやかで読書の邪魔になるかもしれません。ギャラリーについても、どのように組み上げて</p>

	<p>いくのでしょうか。</p> <p>具体的話になりましたが、本事業の基本理念なので、やはり劇場法や市の文化振興計画の理念に則ったものにして欲しいです。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>劇場法ができて10年経過しましたが、その理念は達成されたと言い難いです。せつかく、今後あるべき劇場の指針が示されているので、十分に参考にするという点で、私も賛成です。そのような観点から、事務局で見直しを検討いただければ有難いです。</p>

## (2) 複合化対象機能について

・事務局より、資料2「複合化対象機能の概要一覧表」の説明。

川村委員長	<p>非常に多様な施設の複合体となりますが、それぞれの機能や今後の方向についての説明がありました。</p> <p>ただいまの説明について質問・ご意見をお願いします。</p>
間瀬委員	<p>まず、ここに出ていた施設について、市側としてはどの程度入れたいと思っているのか伺いたいです。総建築面積というよりは総工費等考えると、全部入れたらみ出してしまう。</p> <p>文書館に収蔵庫があります。また、常設展示についても収蔵場所があるかと思いますが、一部は建物の中に収蔵庫が必要となります。図書館も閲覧室だけではなく、バックヤードにしっかりと空間がないと、本来の図書館の役割が成り立たなくなります。全て入れていくと、400席くらいの小ホールと会議室くらいになってしまう、私はそのように読めました。</p> <p>まずは、行政側はどこまで本気で全部入れようと思っているのか、要望があったから入れるのか、この会議の中で入れた方がよい施設について、我々が提言をしてもよいのかについて、お伺いたいです。</p>
事務局	<p>今回説明した各機能については、本市としては複合化する考えです。市議会での当初の説明では、市民会館、市民ギャラリー、南市民図書館、常設展示室の4つの機能をあわせて15,000㎡くらいになり、それとあわせて複合化することによって面積が増えるという説明をしています。そのため、現在想定をしている中では、約20,000㎡に増えています。ただし、この約20,000㎡については、共用できる場所を考えていない面積であり、できるだけ共用できる場所をつくり、必要な諸室についても面積を可能な限り縮減していくことで、事業費を抑える考えです。</p> <p>また、収蔵スペースについても要望としてはかなり出ていますが、各所管課と調整している中で、文書館、図書館の紙関係の物を保存する観点から、収蔵庫は共用できるのではないかとこの点も含めて、検討をしているところです。</p>
間瀬委員	<p>パルテノン多摩は博物館機能があり、地下や1階部分のかなりの部分を収蔵</p>

	<p>庫で占めていますが、図書館は入っていません。民族的なものや教育委員会のもの等、紙ベースのものも結構あります。</p> <p>収蔵庫がしっかりできていれば活動としても面白いことができますが、全体の中で面積を減らしていくと、つくっても中身が揃わないということもあります。ホールについても、客席は確保しても舞台は小さいとか、倉庫をなくすということが他でも起きています。</p> <p>市議会でも説明したとのことですが、市民会館と図書館、市民ギャラリー、の3つ以外は、できれば一緒にならない方がお互い幸せではないかと思いません。</p>
事務局	<p>今回は新たな機能として全庁的に照会をかけ、複合化をすることが本市の方向性であるとしていますが、それぞれに理由があります。例えば、青少年会館では、新たな交流が生まれる等の理由が挙げられます。これについては、4つの軸となる機能から相反しているとは考えていません。また、事業費との兼ね合いで中途半端なものがないかという点について、先ほどの4つの機能に絞った方が良いのではというご意見だと思いますが、例えば、収蔵庫についても各所管課と調整し、有効に使える機能を確保したいと考えています。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございます。</p>
長田委員	<p>以前の検討委員会で、青少年会館等いくつかの施設が市民会館に入るの、肯定的な意見ではないと記憶していました。「複合化機能候補の他の機能とどのようなことができそうか」という項目があるということは、全て施設を市民会館の中に移設することや、新しく場所を設けるということは賛成しているのか、確認したいです。</p>
事務局	<p>今回挙げている機能は、複合化によりさらなるメリットがあるということで各所管が希望しており、庁内検討の上、方向性として決めさせていただきました。</p>
長田委員	<p>資料に記載されている施設は、複合化の計画の中で全て入れて検討するのか、どれかを入れてどれかを外すのか、スタートラインがどちらなのか分かりません。全て複合化することが前提であれば、どのくらいの規模なのかということも含めて考えないと、どっちつかずの施設になりかねません。</p> <p>全て複合化すると、莫大な広さと設備が必要になります。どちらから考えるべきかについて、決めてあるのか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>本市としては、説明した機能は全て複合化する想定です。ご心配の想定事業費は、延床面積から想定していますが、これから事業費を算定するにあたって、どの程度面積を縮減できるか、どの程度の規模が必要なのか等を精査し、事業費を縮減していきます。また、事業費については国庫補助の活用という意味での縮減も考えていきたいと思っています。</p>



	<p>繰り返しとなりますが、本市としては、資料で挙げている機能は全て複合化する想定であります。</p>
長田委員	<p>今のご説明だと、ここにある施設は全て入れる前提で計画をたてるということでしょうか。その場合は、間瀬委員のおっしゃるような常設展示だけの複合化とは、全く異なる話になります。</p>
間瀬委員	<p>全部入れる予定と聞いて困ったと思っています。表に出てくる物によって、かなりのデッドスペースが出てきます。人が集うという点では、オープンなホワイエ等も必要になります。</p> <p>どうしても入れるということであれば、考えられるのは小田原の例で、敷地の中に別棟をつくるという考えも必要かと思いました。小田原でも、予算に限りがあったので入札不調等苦労したとのことですが、別棟として、別予算として同時にオープンしました。同時でなくとも第2期工事とするなどにより、市民会館と青少年会館が近くにあり、実現したいことともリンクできるのではと思います。</p> <p>私は、複合文化施設とはいえ、藤沢市民会館の再整備計画としては、市民会館のレベルアップをしないで、色々なものが集まって狭くなったことにより、お互いが不便になるのはいかがか、という感想です。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございます。</p>
野口委員	<p>まったく同意見です。二兎を追う者は一兎をも得ずといった感じで、中途半端なものができる恐れがあります。</p> <p>核となるのは市民会館であり、2期工事などで別棟をつくるのがよいのではないかと思います。今は市民会館をしっかりとつくるということを考えるべきだと思います。</p>
中島委員	<p>結論としては同じですが、都市計画の視点から述べると、懸念するのは建ぺい率が高くなることです。現状の市民会館で良い点は、大きなオープンスペースで様々な活動を受入れている点です。そこを考えると、この面積を詰め込む際に考えられるのは、一つは建て詰まること、もう一つは高層化もあり得ます。そうなってくると、街並みの問題やオープンスペースのあり方等、環境がかなり変わってきってしまうという懸念があります。面積の問題はクリティカルであり、何を複合化できるのかについて考えなければならぬと思います。</p> <p>もう1点、収蔵庫については、ハザードマップで示されている水害の懸念があります。技術的には地下であっても防水が可能かもしれませんが、建設費が高くなってしまいます。それを踏まえると、全て入れることが望ましいか、検討いただきたいです。</p>
間瀬委員	<p>中島委員からのご指摘のとおりです。パルテノン多摩は半地下に収蔵庫があります。漏水や湿気が多いため、虫の問題もあり、月に2回職員が空調と虫の</p>

	<p>チェックをしています。</p> <p>地下におろすと、経費がかかることとなります。地下室全体が湿気を帯びるため収蔵庫には向いていないので、図書館を一緒にするのは懸念があります。</p>
川村委員長	<p>イメージとして記載されているのは「機能」です。「機能」イコール「組織」なのでしょうか。つまり、新しい市民会館ができた時に、それぞれの施設で看板が別々に立つのか、あるいは、例えば、新しいホールのホワイエがギャラリーの一部になるなど、機能として入れることと、組織として看板が別々に立てるのか、混同している気がしました。誰がどのように運営するのかという点にも絡んでくると感じました。</p> <p>また、収蔵庫は、なにもこの場所につくる必要はないと思います。もし図書館や博物館で収蔵庫が必要であれば、別の場所につくる可能性も考えられます。市民会館のステージとバックヤードは切り離せられませんが、図書館の収蔵庫などとは意味合いが違うと思います。</p>
事務局	<p>機能と組織の話について、それぞれ別々に管理すると複合化の意味がないので、できるだけ一括管理することで諸室の面積も縮減できると考えていますので、縦割りになるようなことではなく、管理しやすい施設になるように考えています。先ほどの収蔵庫や書庫につきましても、ゾーニングも含めて維持管理しやすいお金のかからないものを検討していきたいと考えています。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>色々意見をいただきましたが、今後の検討に活かして欲しいと思います。</p>

### (3) 再整備基本方針について

- ・事務局より、資料3「再整備基本方針の考え方」、資料4「複合施設事例の紹介」、資料5「複合化機能のイメージ(案)」の説明。

川村委員長	<p>ただいまのご説明についてご質問・ご意見お願いします。</p>
飯田委員	<p>資料5について、施設ごとに括られています。フリースペースといった各枠組みに捉われない居場所という視点が抜けていると感じました。</p> <p>もし各機能が削減された場合に、市民の場所という視点は必ず落とさないでほしいと思います。</p> <p>フリースペースについて、どこかに配置するお考えがあるのか、ご意見いただきたいです。</p>
事務局	<p>フリースペースについて、どの程度設けるかは具体になっておりませんが、各所管からは、自分たちが管理する機能だけではなく、連携できるようなオープンスペースが欲しいという要望はありますので、今後検討したいと考えています。</p>
飯田委員	<p>先ほどの話から、機能が減るということもあり得るので、心配しています。</p>

	<p>基本理念に沿った居場所的な機能についても、盛り込んでいただけると検討しやすくなると思いました。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございました。他に意見はございますか。</p>
黒川委員	<p>何を中心とした施設なのか、文化芸術の優位性を担保するという話の中では、複合化の施設のあり方の入口の話になります。文化芸術を主体に置いた場合、ホールから考えるものと私は考えていましたが、それと事務局案とは切り口が異なると思います。その点について、皆さんのおっしゃっていた「文化芸術が主体になっているのか」という意見とも重なっている気がします。</p> <p>ホールのあり方が大きな議論の要素になると思いますが、事務局のご意見もお伺いしたいです。</p>
事務局	<p>ホールのあり方については、非常に重要な視点と考えています。一方、今回は市民会館等と「等」が入っており、辺り一帯の複合化といった視点もあり、その点も含めて整理したいと考えています。</p>
川村委員長	<p>やはりホールが中心になるかと思います。藤沢の場合は、ホールが市民オペラを発展させる場だということであると思います。市民オペラがホールの基本的なイメージを作っていくものだと思います。藤沢市にとっては、50年の蓄積を生かしていくという視点が大切だと思っています。</p> <p>また、資料を拝見していて、資料4の各施設の紹介にある「学びの杜のいちカレード」について、他の施設は駅の近くにありますが、野々市市の施設は駅から離れています。そこで、コミュニティバスやシャトルバスが出ています。野々市市は藤沢市よりも面積が小さいため市内を巡れるということもありますが、やはり、アクセスが非常に重要であると思います。市全域は難しくとも、藤沢駅からのシャトルバスなどを考えると、具体的にイメージができると思います。</p>
間瀬委員	<p>実例としては、横浜市にある神奈川県立音楽堂、横浜市能楽堂、ギャラリー、これら3つの施設がリンクしており、桜木町駅からコミュニティバスが出ているので、できない話ではありません。もちろん経費はかかりますが、これを行うことによって、高齢者が紅葉坂を登らなくてもよくなりました。これから高齢化が進む中では、駅とこれら施設を1時間に2、3本でも周ってくれたら良いと思います。</p> <p>もう一つ、複合事例の紹介ということですが、大和市のシリウスのロビーは狭く、ホールの方には実はほとんどロビーがなく、スターバックスがかなりのスペースを占めています。ホールのお客さんが並ぶ場所がないということもありました。なかなか難しく、大和市図書館の附属ホールという建付けのイメージを持っています。</p> <p>札幌市の市民交流プラザは、全体に上手く配置されており、レストランやカフェもありますが、それ以外は民間に事務所として貸しています。そういったこともできると良いのですが、開発の規模が全然違いますので一緒にはできないかもしれません。</p> <p>先ほどの話で、いくつもの施設の複合化を前提にして考えていくと、パンク状態になるのではないかと考えています。先ほど委員長がおっしゃったよう</p>

	<p>に、ホールの主たる目的は何かを考えた時に、50年続けてきた市民オペラはやはり無視できません。</p> <p>また、様々な団体が展示をしたりする空間はきちんとつくる必要があります。今の市民会館は、ギャラリーとしての体をなしていないと私は思っています。天井高を確保すると、上のフロアが使いなくなってしまいます。劇場の席数の議論の際は、ホールを使って市が何を表現したいのか、はっきりと明示をしないと根拠が出てこないと思います。例えば、オペラをやるならこれくらい必要であるということがあります。また、有名なアーティストを呼ぼうとすると、最低でも2,000席～3,000席はないと来てくれません。なぜ神奈川県民ホールが選ばれるのかというと、2,000席あるからです。鎌倉や藤沢には来ないという話ではなく、開催側が選んでくれないということです。やはり、世界の一流の方を呼びたいのであれば、1,800～2,000席規模が必要になります。オペラをやるならオーケストラピットを沈めても最低1,500席は入れたいです。何をやるかによって席数が決まります。人間にとって舞台が良く見える距離があり、30mを超えると難しく、芝居であれば20mくらいまでになります。2,000人のホールでは芝居は難しいです。人形劇は20mを切らないと顔の表情が見えず、2,000人規模のホールでは上演が不可能になります。</p> <p>そういう意味では、ホールで何をどのような形で表現するのかについて、施主側がしっかりと提言しないと、ホールはできないと思います。ホールの性格の違いを認識して、何人のホールが必要なのかについて、議論を深めていかないといけません。</p> <p>近隣ホールの数、他都市の同規模予算・人口に合わせることは関係ないと思います。何をやるのが大事であると思います。その辺を議論して、メインのホールで何をやりたいのか、何をさせたいのかを、行政側も我々も提言をしないといけないと思います。</p>
川村委員長	<p>文化芸術の重要性についても、おっしゃるとおり共通の理解をしていければ良いと思います。</p> <p>今のご指摘は、資料6「ホール席数検討における評価の視点(案)」に深い関係があるので、これについて説明をお願いします。</p>
飯田委員	<p>1点よろしいですか。今の議論に逆行するかもしれませんが、複合化という点で私が期待したいことは、ホールを重視することも重要と思いますが、音楽ファンのための施設というイメージとして、市民から意識されてしまうというリスクがあると思います。</p> <p>「開かれた」ということを理念として掲げるのであれば、ホールがメインであっても、市民が訪れる場所であることをもっとアピールすることが必要であり、そういう意味では、文化芸術をもう少し一般の市民にとってもどのような意味を持つのかについて分かりやすくアピールしないと、「ある特定の層のための施設になった」という印象が持たれることもあると思いました。</p>
川村委員長	<p>ありがとうございます。大変貴重なご意見だと思います。文化芸術はすべての人にとって身近なものであると私は思っていますが、具体的にはそれは多くの人が色々な立場からそれぞれで考えており、文化芸術の重要性についても共通認識を持てれば良いと思います。</p>

#### (4) ホール席数検討における評価の視点 (案)

・事務局より、資料6「ホール席数検討における評価の視点 (案)」の説明。

川村委員長	ただいまの説明でご質問・ご意見はございますか。
黒川委員	<p>先ほど間瀬委員がおっしゃったように、メインホールが市民オペラ主体のつくりであることは、一つのあり方として理解するのですが、文化振興に関して、様々な芸術活動を行っている市民団体の練習場所として、同時に市民の発表の場としても市民会館は使われています。2,000席となるとそういった団体は困ってしまうと思いますし、実際に私たちも演劇での使用を考えると、オペラホールを使うことはかなり難しいです。そういう意味で、メイン・サブホールという考えはあるのか。そこは重要なポイントです。例えば、現在大ホールを使用して市民オペラを行う際、人員の配置のために、会議室も含めて市民会館の全部の機能がストップしてしまいます。メインホールだけでなく、サブホールも含めてスタジオや稽古場等の機能を充実させていくことがあり得るのかどうかについても、はっきりさせたいです。</p>
間瀬委員	<p>評価項目で気になる点として、近隣のデータはいつ頃のものを利用するのでしょうか。コロナの影響もあるので、4、5年前などある程度のピーク時点のデータをとらないと、現在の数字ですと利用率は低くなってしまいますので、お分かりだと思いますが、検討いただきたいです。</p> <p>また、ライフサイクルコストについては、初期に予算化をしておかないと、後々予算化していただけなくなり、修繕ができないという状況が多々起きています。先ほどの複合化の視点で、いくつかの施設が来ると、かなり複雑に噛み合ってくるのではと思います。ライフサイクルコストを決めるということは、どのくらいの施設をどのくらいの規模で設けるのかを決めなければ、数字が出てこないと思います。</p> <p>視点の中にもう一つ加えていただきたい点として、設置目的にあった規模について、近隣施設ではどのようになっているのかを見ていただきたいと思います。</p> <p>私の希望的な意見で、黒川委員もおっしゃっていましたが、大ホール、800人くらいの中ホール、300人くらいの小ホール、フリーで使用できるスタジオ、練習室の大・小は劇場に必要なエリアであると思います。それと楽屋があれば、オペラの時にある程度使用でき、それ以外の諸室については開放できるのではないかと思います。大・中・小ホールのほかに、できれば平場で自由に組み立てられる130坪程度の大ホールと同じくらいの面積のスタジオがあると良いです。設置目的に応じて、オペラから小規模な演奏会、演劇の鑑賞、市民の方々の発表など考えると、どうしても大・中・小ホールの3つが必要になります。小ホールとスタジオを一緒にすることも考えられますが、今の段階では3つのホールとスタジオ・練習室が必要と考えています。設置目的から考えていくとそういうことになるであろうと思います。</p>

	<p>そのように考えると、15,000 m<sup>2</sup>では足りなくなります。図書館などが入ることで収まりきらなくなるのは分かりますが、劇場にも大・小ホール含めて倉庫も必要になります。倉庫がなければ、舞台上の後ろや横に大量の備品を置くことになり、当初予定していたものより狭い空間しか使用できなくなります。そのため、視点としてもう一つ、各自治体で何を設置目的としてどのようなものを設置しているのか、それに合った規模でどのようなものをつくっているのか、それによって利用率なども後から見えてくる、ということになると思います。ご検討よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>他市の調査、利用率等の調査年度は、新型コロナの影響が出る前の平成 30 年度を考えています。</p> <p>ライフサイクルコストについては、あくまで想定になりますが、施設全体というよりも、ホール部分について比較したいと考えています。</p> <p>残りの部分についてはご意見として承らせていただきます。</p>
中島委員	<p>ホールについては、間瀬委員のご発言で納得しました。その他、気になる点としては、既存の秩父宮記念体育館について、今回の事業の範囲ではないかもしれませんが、実際には体育館も一体に計画し、もしかしたら体育館の使い方も変わる、あるいは複合化することもあり得るので、体育館についても検討に入れた方が良いのではないかと思います。これについてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、ゾーニングを検討する上では、既存の建物も考えた上で検討していきたいと考えています。</p>
中島委員	<p>公園についても、連携の考え方は示されていますが、公園そのものについても考えた方が良いのではないのでしょうか。建設費等を考えると大きく変えられるものではないと思いますが、改めて、あの場所にあるべき公園のあり方を考えていただきたいです。公園といっても色々な使い方がありますし、来る人の属性にもよります。そのように考えると、公園そのものだけでなく、同時に地下の駐車場は、複合化した際に台数は足りるかについても大事な話になります。それらを含めてトータル的にお考えになると良いのではないかと思います。ホールについては間瀬委員のおっしゃるとおりで、私からは特にありません。</p>
事務局	<p>公園のあり方についても、現在の公園のあり方や、市民会館もあり、例えば、野外ステージとして使えるのではないかと、色々な可能性を考えていきたいです。駐車場は奥田公園地下にあります。それだけでなくエリア全体で必要な規模を検討していきたいです。</p>
川村委員長	<p>間瀬委員のご意見にあった設置目的に応じた規模については、基本的な視点になるので、その原点はしっかりとご検討いただきたいと思います。</p>
飯田委員	<p>私もホールについては特にコメントできないですが、図書館について具体的</p>

	<p>な話がなかったと感じています。もちろん複合化するか、しないかという話もあるかと思いますが、現時点で図書館も入っているのであれば、その考え方についても盛り込んでいただきたいです。</p> <p>藤沢市は図書人口が大きいと思っており、総合図書館もありつつ、南市民図書館も利用者が多いと感じています。文化芸術の基盤として、図書人口も関わってくると思います。それなりにニーズがあると思っており、附属図書館レベルのものにしてしまうと、複合化により今の駅前や以前の南市民図書館よりも劣ってしまわないかという懸念がありますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>図書館については、既存施設が4館ある中で、連携しながら運用している状況にあり、その辺も含めて規模等を検討しているところです。ODAKYU 湘南 GATE に暫定移設中ではありますが、附属的なものでなく、一つの館として市民会館に複合化することを考えているので、具体的には引き続き検討していきたいです。</p>
飯田委員	<p>図書人口の多さや充実している図書館は、非常に価値があるものであり、文化芸術の振興につながる一つだと思いますので、その辺りも考えていただけると有難いです。</p>
川村委員長	<p>図書館についても重要なご指摘ありがとうございます。</p> <p>お時間が限られているため、本日はこのあたりにさせていただきます。次回は再整備基本方針について、本日の議論を反映していただき、議論していただくこととなります。</p>

#### (5) その他

川村委員長	<p>その他何かございますか。</p>
事務局	<p>前回の委員会で境川の遡上の話しをしましたが、津波ではなく高潮でありました。やはり高潮により奥田公園の境川沿いで浸水が想定されていますが、市民会館への影響は少なく、最悪の場合で 30 c m 程度の浸水が想定されています。一応、ご報告させていただきました。</p>
飯田委員	<p>先ほど一点言い忘れたことがあります。図書館について意見したのは、私も利用しておりますが、お子さんの利用がとても多いです。子どもの時から文化芸術に関われるという点で、補足させていただきます。</p>
川村委員長	<p>以上で議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>以上を持ちまして令和3年度第3回藤沢市民会館等再整備基本構想策定検討委員会を終了します。今回のご意見をまとめて次回の委員会でご提案させていただきます。</p> <p>次回は10月8日金曜日、午後6時半から、市役所本庁舎8階会議室の予定です。本日はありがとうございました。</p>

以上